



おはなしの

マッチ箱



私達は、おはなしのろうそくに
火をともし マッチです。

この箱が、さまざまなお話を放つ
マッチで いっぱいになるように。
心をこめて送ります。

3月のストーリーテリング勉強会

2017年3月8日(水) 9:30~12:00

主催：高知県立図書館 参加者：6人

場所：高知県立図書館 児童図書研究室(子ども読書室奥)

次回の勉強会は
4月12日(水)

9:30~12:00

場所：当館児童図書研究室

(子ども読書室奥)

1 三びきの子ブタ

9分

『イギリスとアイルランドの昔話』(石井桃子/編・訳 福音館書店)より

【語り手から】

子ブタとオオカミの攻防をうまく表現するのが難しいなと感じます。一ヶ所抜けてしまった所があったので、次は気を付けます。

2 鳥吞爺

『日本昔話百選』(稲田浩二 稲田和子/編著 三省堂)より

【語り手から】

まだ十分覚えきれていないので、練習します！来週小学校での初披露に向けがんばります！

3 おかあさんのごちそう

1分

『おはなしのろうそく4』(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館)より

【語り手から】

子どもたちが、想像・イメージできるように、工夫できたらいいなと思いました。面白い話だと改めて知ることができたので、もう一度リベンジしたいと思います。ありがとうございました。また、沢山のお話を聞くことができればいいです。

4 ものいうなべ

15~16分

『ものいうなべ』(メリー・C・ハッチ/文 渡辺 茂男/訳 岩波書店)より

【語り手から】

デンマークのホラ話ですが、イギリスの「ジャックとマメの木」などとくらべると、ゆる〜いユーモアが一貫して流れていて、そのおもしろさが好きです。今日は準備不足で十分味わいが出せず、すみませんでした。

5 エパミナンダス

『おはなしのろうそく1』(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館)より

【語り手から】

最後のオチが伝わりにくいので、次回小学校でやるときは、チャレンジでジェスチャーをつけてやってみたいと思います。

6 一つ目、二つ目、三つ目

『子どもに語るグリムの昔話5』(佐々梨代子 野村法/訳 こぐま社)より

おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。

1月は行く、2月は逃げると言われる通り、あっという間に3月ですね。
今年度もまもなく終了ということで、みなさまお忙しい毎日を過ごされていることと思います。
来年度も、ストーリーテリング勉強会をよろしくお願ひいたします。